



Ultimate Aquarium DC-Pump

アルティメットアクアリウム DC ポンプ

水中専用 DC ポンプ

ダウンロード版取扱説明書




この度はZOOX アルティメットアクアリウム DC ポンプをご購入いただき、誠にありがとうございます。
本製品は淡水と海水の両環境で、循環ポンプとしてご使用頂けます。
本説明書は、DC3000、DC5500、DC8000 に対応しています。
ご使用に際し、この取扱説明書をよくお読みいただき、使用方法と構造をよくご理解した上でご使用
ください。お読みになった後は、いつでもすぐ読むことができる場所に大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用頂き、ご使用される方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

以下に、本書に使用している表示とその意味を説明します。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次のように区分しています。

注意事項の区分

 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」を表します。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表します。
 注意	「人が損害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表します。

マークの意味

 禁止	 強制	 電源プラグを抜く
--	---	---

電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い

警告

電源は、交流 100V で、定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する

交流 100V 以外での使用や、コンセントを他の器具と同時に使うと火災・感電の原因になります。
延長コードが必要な場合は正しい定格のコードを使用してください。器具の定格より低いアンペア数やワット数対応のコードを使用するとオーバーヒートにつながる危険があります。

電源コードや電源プラグを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

濡れた手で電源の抜き差しをしない

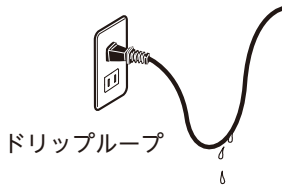
感電の原因になります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因となります。

電源タップには必ずドリップループを設ける

水滴がコードを伝ってコンセントに接触しないようにしてください。火災・感電の原因になります。




アースを確実に取り付ける


故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アースの接続および取り外しは、電源プラグがコンセントから抜いてある状態で行ってください。
感電の原因になることがあります。


安全上のご注意 (つづき)

電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い

警告


 水槽に手を入れる場合・メンテナンスを行う際は電源プラグを抜く
感電の原因になります。


 電源プラグのほこりは、定期的に取り除く
ほこりなどがたまると、湿気などにより火災の原因となります。乾いた布で拭き取ってください。

 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜くコードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。


設置するとき


警告


 高温になる場所(火のそば、熱器具のそば、炎天下など)や、直射日光の当たる場所には設置しない
禁止
35℃以下の室内でのみ使用することができます。

 電源コード、アダプターに水のかかる場所への設置をしない
禁止
感電・漏電することがあります。

注意


 本製品に衝撃を与えないよう、持ち運び・設置等の際の取扱いには十分注意する
衝撃を与えると、破損・故障の原因になります。


 お子様に危険を及ぼす恐れのある場所には設置しない
禁止

 屋外での使用や、放置をしない
禁止
発熱・破裂などの原因になります。


使用するとき


警告

 異常時(こげ臭いなど)は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止する
発熱・火災の原因となります。購入された販売店もしくは弊社までご連絡ください。

 ポンプに水が循環できない状態かつポンプ内に水が満たされていない状態で動作させない
故障や火災の原因となります。

注意

 本製品を改造・加工等しない
破損やケガの原因となります。
禁止

 推奨される用途以外での使用はしない
思わぬ事故や危険を招く恐れがあります。
禁止

●ご使用の前に



- ・本製品は水中専用です。
- ・ポンプの停止による、生体等の補償は行っておりません。予めご了承の上、ご使用ください。

このポンプは下記の注意事項を守ってご使用ください。

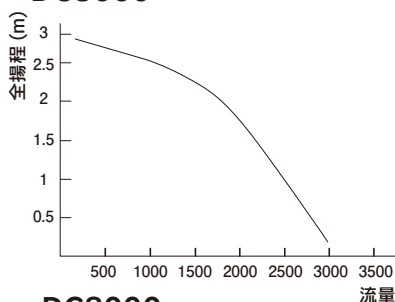
- ・水位の低下等でポンプが空運転しないように注意してください。
- ・本体に砂や異物が吸い込まれないようご注意ください。これにより深刻なダメージを受ける場合があります。また、この場合は保証の対象外となります。
- ・腐食性または研磨性のある液体でのご使用はお止めください。
- ・ポンプを持つ際は、コードを持ってポンプを持ち上げないでください。
- ・石灰藻やカルシウム成分、コケなどが付着しないように定期的に清掃を行ってください。
- ・アダプターのコネクターをコントローラーに接続する際は、必ず電源が入っていない状態で行ってください。

●仕様

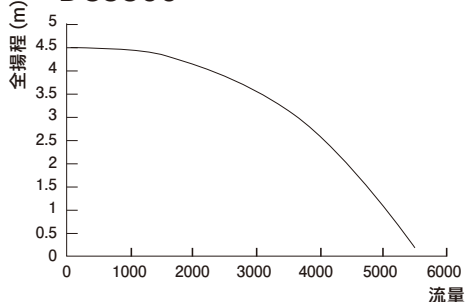
Model	ポンプ最大消費電力 [※]	定格電圧 / 周波数	最大流量	適合ホース内径	本体サイズ(cm)
DC3000	25W(±5%)	100-240V 50/60Hz	3000l/h	16mm	W16×D9.1×H18
DC5500	34W(±5%)	100-240V 50/60Hz	5500l/h	16mm	W18.5×D10.1×H19.3
DC8000	68W(±5%)	100-240V 50/60Hz	8000l/h	20mm	W18.5×D10.1×H19.3

※コントローラーの消費電力は含まれていません。

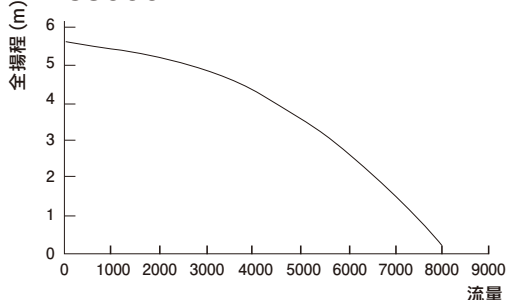
DC3000



DC5500



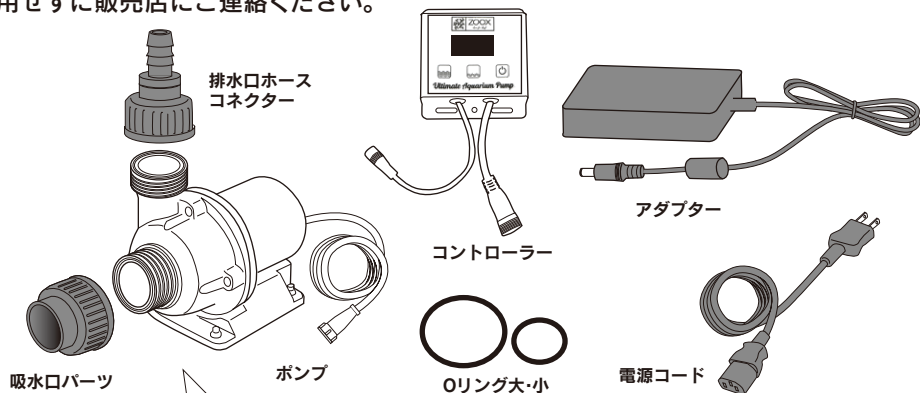
DC8000



※全揚程とは配管(ホース)の長さで、配管摩擦や機器を接続した際の抵抗により変化します。

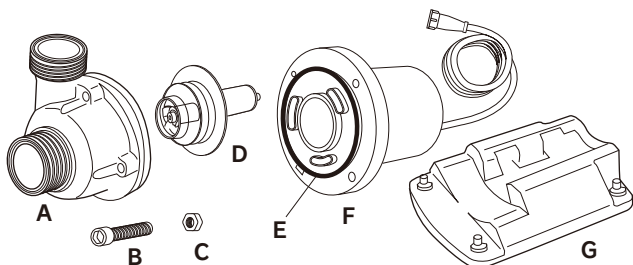
●内容物

本体と全ての付属パーツを箱から取り出し、輸送中の損傷等が無いかご確認ください。特にコード部分に傷が付いていないことをご確認ください。万一、損傷等が見られた場合は、使用せずに販売店にご連絡ください。



各部名称

- A ポンプカバー
- B 固定ボルト
- C 固定ナット
- D インペラー
- E Oリング
- F ポンプコア
- G ポンプマウント



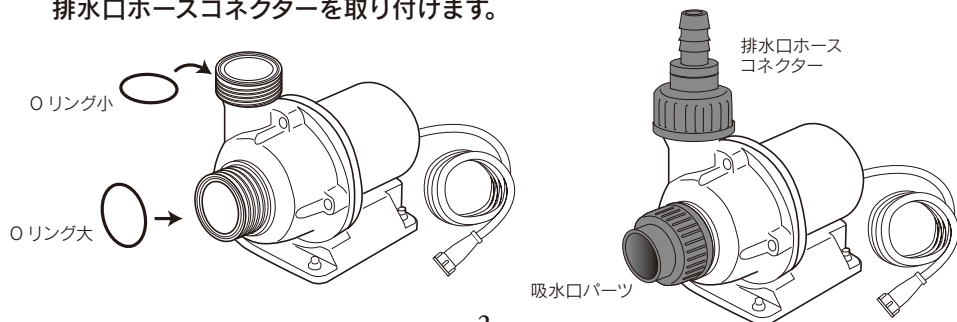
●水槽への設置方法



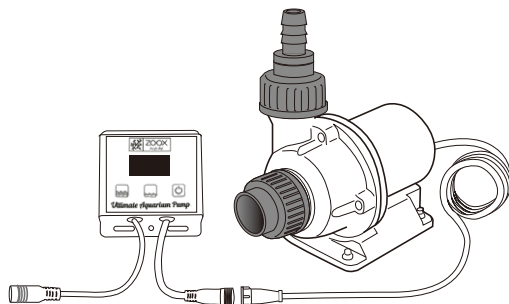
ポンプの設置場所や吸水場所の水位の低下等で、ポンプが空転しないようにしてください。ポンプの故障や重大な事故の原因となります。また、これらの原因による故障は保証対象外となります。

アダプターやコントローラーは、熱気や湿気のこもらない場所に設置してください。

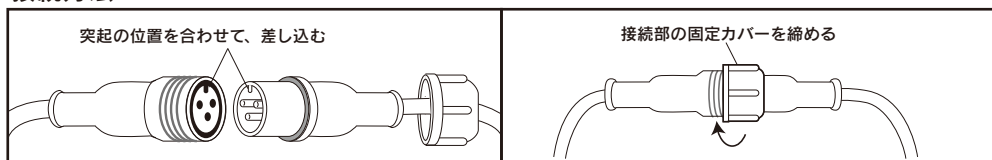
1. Oリング大を吸水口に、Oリング小を排水口に取り付け、その上から吸水口パーツ、排水口ホースコネクターを取り付けます。



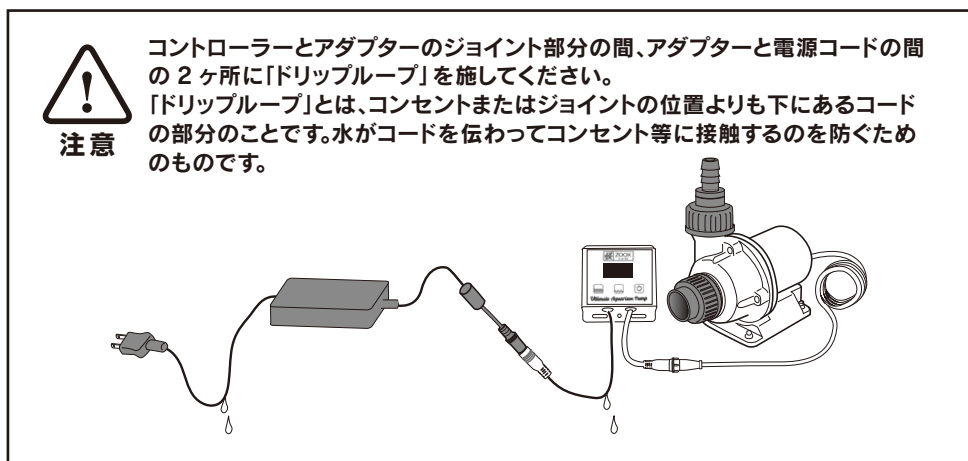
2. ポンプとコントローラーのジョイント部分を下記の接続方法を参考に接続してください。



接続方法



3. アダプターのコネクターをコントローラーに接続してください。
4. 電源コードをアダプターに接続してください。
※接続は、必ず電源がコンセントにつながっていない状態で行なってください。

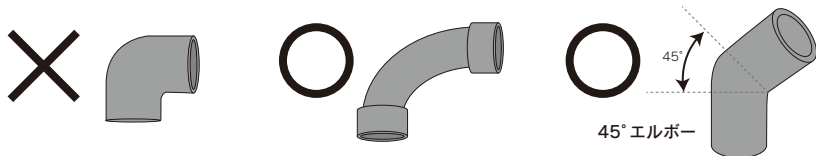


5. 本体が水中にあり、本体内部が水で満たされていることを確認してからプラグをコンセントに接続してください。

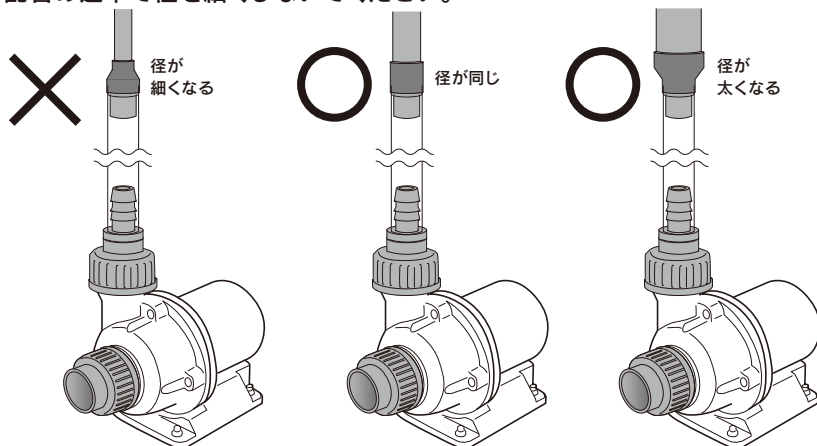
配管時の注意事項

過度な排水抵抗は、流量低下やポンプの異音、故障に繋がります。下記注意事項をお守りください。

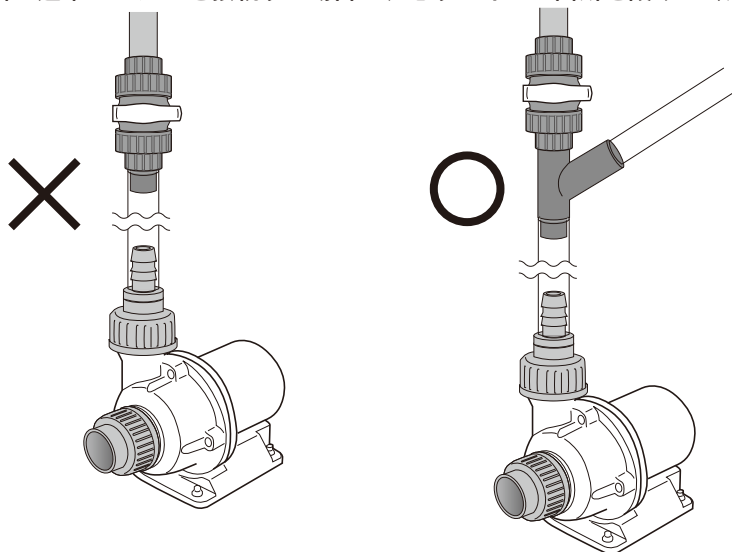
- 吸水配管または、排水配管の先に直角エルボパイプを使用しないでください。必要な場合は角度がなめらかなパイプをご使用ください。



- 配管の途中で径を細くしないでください。



- 配管の途中にバルブを接続する場合は、必ずバイパス箇所を設けてください。



●コントローラーの使用方法

※各ボタンはタッチパネル式ですので、強く押し込まないでください。
故障の原因となります。

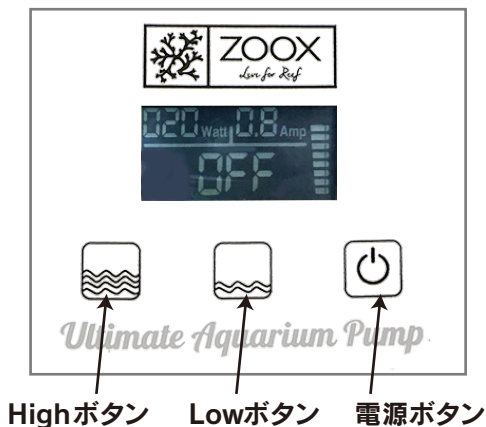
※中央に表示される数字(RPM)は、インペラーの回転数を表します。
流量を多くするとRPM(回転数)は上がり、少なくすると下がります。
また、排水に抵抗がかかると設定された流量を維持しようとしてRPM(回転数)は上がります。



回転数(RPM)は 2500 回転以下でご使用することをお勧めします。

高回転で使用すると消費電力が上がるだけでなく、故障の原因や消耗を早めることとなります。

2500 回転以下で使用して流量が弱い場合は接続機器や配管を見直してください。



1. 「OFF」が表示されている状態で High ボタンをタッチするとポンプが動作開始します。
2. 「High ボタン」と「Low ボタン」で水槽に合った流量に調節してください。
High ボタンをタッチして回転数を上げると、水流が強くなります。
3. 電源ボタンを 1 度タッチするとポーズモードになり、ポンプが停止します。
※ポーズモードは約 30 分後に解除され、ポーズ前のパワーで動作が開始されます。
4. ポーズモードの状態でもう 1 度電源ボタンをタッチすると電源が OFF になります。

●メンテナンス

安全にご使用いただくために定期的に(最低でも月に1回)汚れやカルシウム成分を取り除くメンテナンス(清掃)を行ってください。また、電源コードの接続部分やコンセントなどのホコリや汚れも取り除いてください。

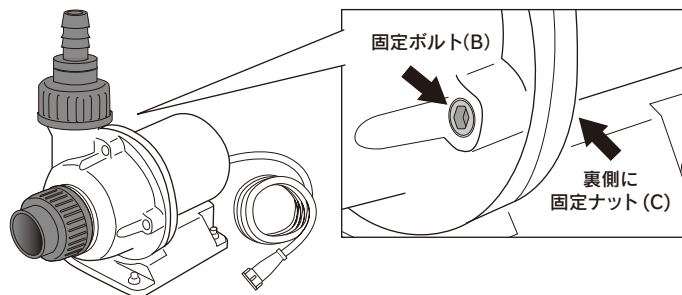
※必ず電源プラグをコンセントから抜き、通電していないことを確認してから行ってください。

※ポンプの構造をよく理解してから行ってください。

※洗剤や硬いスポンジやブラシを使用しないでください。

※電源コードやコンセントを清掃する際は、乾いた柔らかい布で清掃してください。

1. 市販の六角レンチ(付属していませんので別途ご用意ください)を使い、固定ボルト(B)を取り外します。この際に固定ナット(C)を紛失しないように注意してください。



2. ポンプコア(F)からポンプカバー(A)を取り外します。
3. ポンプコア(F)からインペラー(D)を取り外します。

各部名称

A ポンプカバー

B 固定ボルト

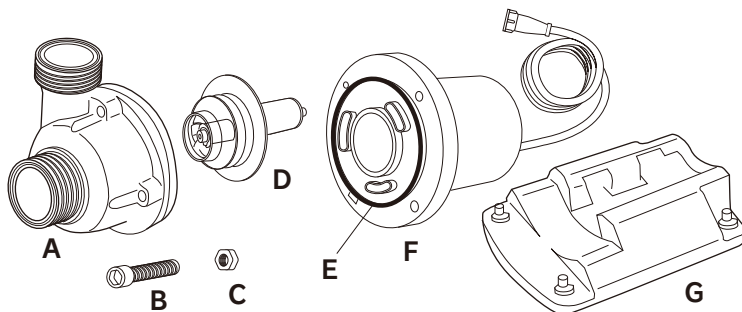
C 固定ナット

D インペラー

E Oリング

F ポンプコア

G ポンプマウント



4. 柔らかい毛の歯ブラシなどを使い、各パーツの汚れを取り除いてください。
※石灰藻やカルシウム成分などが固着している場合は、弊社が販売している DD のアクアリウム用品専用クリーナー Ezecclean などの、専用クリーナーを使用して取り除いてください。
5. インペラーに破損が無いか確かめます。
6. Oリングに傷や破損が無いか確かめます。
※小さな傷でも水漏れや故障の原因となりますので見つけた場合は直ちに交換してください。
※インペラーや Oリングは消耗品扱いとなり、保証の対象外となります。
※シリコングリス (別売り) を塗ることをおすすめします。
7. 1～3の逆の手順でポンプを組み立て直し、元の場所に設置します。
8. 電源を入れてしばらくは異常が無いか確認してください。

●エラーコード解決方法

エラーコード	原因	解決方法
Er01	空運転	ポンプ設置場所の水位が低くなっていないか確認してください。必要であれば水足しを行ってください。
Er02	低電圧	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。ヒーターやクーラー、照明器具等とタコ足配線で使用すると、定電圧になる可能性があります。周辺器具の配線を見直してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
Er03	高電圧	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
Er04	給水・排水圧異常	吸水もしくは排水に抵抗がかかっていないかを確認してください。必要であれば4ページの「配管時の注意事項」に従って、配管を見直してください。
	異物混入・よごれ	ポンプを分解・清掃してください。
Er05	電流異常	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
	異物混入・よごれ	ポンプを分解・清掃してください。

※すべてのエラーコードは、ポンプを自動的に停止させます。問題解決後、ポンプを再起動してください。



ポンプの停止による、生体等の補償は行っておりません。予めご了承ください。

●Q&A

Q. 電源を入れ設定を行ってもポンプが稼働しない。

A. 運送時などに発生する衝撃でインペラーの軸がずれてしまう場合がございます。一度インペラーを取り出しキズや破損がないか確認した後、再度組み立て直してください。
※インペラーに傷や破損が見られた場合は使用を中止し販売店または弊社お問い合わせメールへご連絡ください。

お問い合わせ : info@mmclplanning.com

輸入 / 発売元
株式会社 エムエムシー企画 レッドシー事業部

〒174-0063 東京都板橋区前野町 6-29-4
お問い合わせ : info@mmcplanning.com
<http://aqua.mmccorp.jp>